

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆補正予算案、総額18兆3034億円 本日閣議決定

・政府の2025年度補正予算案は一般会計の総額が18兆3034億円になる見通し。経済対策の経費は17兆7028億円を見込む。財源には今年度の税収で上振れが見込まれる2兆8790億円などを活用するものの、不足する分の11兆6960億円を追加の国債発行で補う。補正予算案は本日にも閣議決定する。12月上旬の国会提出をめざす。

◆クマ対策に34億円、緊急銃猟に交付金 環境省が補正予算案に計上

・環境省は全国で相次ぐクマ被害の対策費として34億円を2025年度の補正予算案に計上。市街地でも一定の要件を満たせば発砲してクマを駆除できる緊急銃猟の促進や、自治体によるハンター雇用に充てる交付金を設ける。25年度当初予算の1億円から大幅に拡充。交付金に28億円を使い、ハンターの人件費や捕獲機材の購入に充てる。

◆中国企業4社に1社が赤字 1～9月過去最悪、不動産・太陽光が不振

・中国企業が業績悪化に苦しんでいる。上場約5300社の2025年1～9月期決算は、最終赤字となった企業の割合が24%と前年同期から1ポイント上昇し、データがそろった02年以降で最悪だった。不動産と太陽光関連はおよそ半数が赤字。赤字の背景にある内需の落ち込みや過剰生産は、世界景気を下押しするリスク要因にもなる。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆10月国内建設受注額5%減 民間の大型受注少なく

・日本建設業連合会が発表した2025年10月の国内建設受注額は、前年同月比5%減の1兆4313億円だった。単月でのマイナスは3カ月ぶり。民間で製造業と非製造業ともに大型案件が少なかったほか、前年同期の受注額が過去20年で最高だった反動も影響。民間からの受注額は18%減の9936億円で、うち非製造業は19%減の7738億円だった。

◆住宅宅地分科会、住生活基本計画の素案示す

・国土交通省の社会資本整備審議会住宅宅地分科会(分科会長＝大月敏雄東京大学大学院工学系研究科教授)は第67回の会議で、住生活基本計画(全国計画)の素案を示した。▽空き家のサブリース事業と良質な空き家の賃貸流通の促進▽住宅金融支援機構の金融支援による手頃な賃貸住宅市場の整備▽住宅地における浸水対策―など。

◆パナソニックHD、事業会社パナソニックの吸収合併を決議

・パナソニックホールディングスは取締役会で、完全子会社のパナソニックを2026年4月1日付で吸収合併することを決議したと発表。パナソニックの主な事業は新たに発足する複数の事業会社に分割して承継し、そのうえでパナソニックHDがパナソニックを吸収する。パナソニックの事業は冷蔵庫などの白物家電やエアコンなどで構成される。

《 注目商品 》

■パナソニック、「脱・脱衣所」「多用途」な洗面化粧台

・普及価格帯の洗面化粧台・C-Lineから、多用途に使えるカウンター長さを確保し、洗面台下の自由度を高めた新プラン「フロートワイドカウンタープラン(Wall to Wallタイプ)」を発売。最大対応幅1700mmのロングカウンターを採用。収納の引き出しをつけず多目的に使える。



■LIXIL、電気錠「FamiLock」と決済スマートリングの連携

・玄関ドアのスマートロックシステム「FamiLock(ファミロック)」の登録可能キーの1つに指輪型決済端末を追加。スマートフォン、リモコンキー、タグキーなどからカギを選べる電気錠。新しいキーデバイスとして、決済スマートリング「EVERING(エブリング)」が加わった。



■アイカ、マグネットが使える高意匠不燃化粧板

・マグネットが使える高意匠不燃化粧板「マグフィーノ」を発売。意匠性・耐久性・施工性に優れたメラミン不燃化粧板にマグネット対応機能を追加。壁面に掲示用マグネット、フックや小棚などのマグネット収納グッズを使うことができる。

